

JICA青年研修事業（インドネシア：都市環境管理コース）（オンライン研修）を開催しました。写真は、閉講式に参加した研修員他の写真です。

JICA 2021年度 青年研修事業

インドネシア共和国の行政職員が参加した青年研修（インドネシア：都市環境管理コース）をオンラインで実施しました。

JICA中国からの委託事業である青年研修を12年連続して受託し、実施しています（2020年度はコロナ禍のため2021年度に延期）。

次ページ以降に詳細をまとめています。



2021年度 JICA 青年研修 (インドネシア：都市環境管理コース) (オンライン研修)

インドネシアの将来の国づくりを担う青年行政官20名が参加して、都市環境管理コースの研修を実施しました。研修では宇部市が経験した激甚な粉じん公害を「宇部方式」により解決した経験などを学びました。また、宇部市の環境政策、環境保全対策、SDGs、廃棄物管理などの取り組み、水俣市の廃棄物管理や家庭ごみの処理機「キエーロ」の紹介、そして企業による食品廃棄物の処理などについても学びました。さらに、環境保全活動のための行政と市民との連携や、市民の環境への取り組みを講師や市民との質疑応答などを通じて肌で感じ、幅広い環境保全対策や技術、環境に携わる人づくりなどを理解しました。

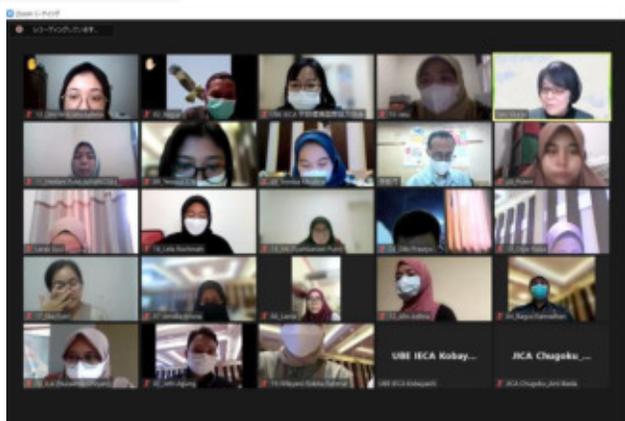
研修実施主体：JICA、宇部環境国際協力協会

期間：2022年2月7日（月）～21日（月） 15日間

研修員：インドネシア青年行政官 20名

研修先：宇部市、宇部市上下水道局、水俣市環境クリーンセンター、宇部港東見初広域最終処分場、（株）アースクリエイティブ、山口大学名誉教授、宇部フロンティア大学短期大学部教授、宇部市環境まちづくりサポーター

研修風景



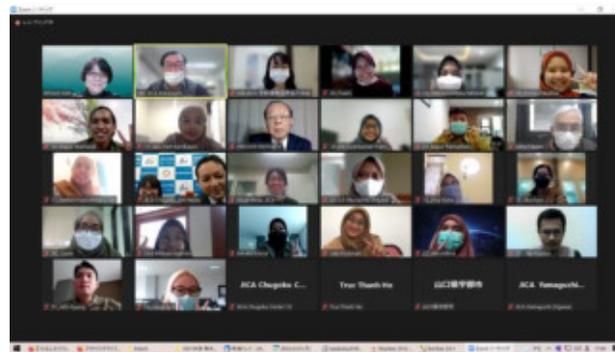
宇部方式について学びました。



宇部IECA事務所において講義を行ったときの様子です。



研修最後のディスカッションのときの様子です。



閉講式を実施し、修了証書を授与しました。

2020年度のJICA青年研修は、新型コロナウイルス感染症のため延期されたため、2021年度に合わせて募集を行い、20名の参加により実施しました。

2021年度はコロナ禍のため日本国内に研修員が来日して研修を受けることが出来ず、オンライン（Zoom）によるWebinarで実施することになりました。そこで、Webinar の実施についてJICA中国と協議を行い、下記の方針で実施することにしました。

- Webinarで実施するため、長時間の講義では集中力が持続しないことが懸念される。よって、1日2時間位の講義にして集中して聴講できるように計画する。
- 来日することを前提として計画したスケジュールを1日2時間ですべて実施するためには4週間以上必要となるが、期間が長すぎるので2週間位にする。そのため、宇部市ならではの「宇部方式」などに関連する講義に絞り込む。
- 来日時には現場視察で講義内容の理解を深めているが、Webinarでは視察が出来ない。そこで、講義内容の理解をより深めるためにビデオを用いて深めるようにする。このため、既存のビデオがない場合には新たにビデオを撮影し、これらのビデオにインドネシア語のテロップや説明音声を追加するなどの準備を行う。
- 開講式、閉講式、レポート発表会、研修終了証の授与などは、オンラインではあるが実施する。

以上の方針に基づき、事前の準備を行って研修を実施しました。

研修員による発表



Job report発表

(環境林業省 バグースさん)
 伝統的な市場周りに積まれている生ごみをアメリカミズアブやイトミミズ、蚕を養殖して食べさせ、良質なアミノ酸である幼虫や虫は鶏や魚の餌、糞は肥料に活用するというサーキュラーエコノミーのプログラム。どうやって養殖・飼育していくかの研修会が住民に向けて行われている。

適用と課題

適用

- 家庭でのごみ分別ルール
- 違反業者に対して社会的制裁として企業名を公表する。
- 環境にやさしい企業の製品にもっと敏感になるような市民教育を実施する。
- より大きな規模で集中的に食品残渣・廃食油のリサイクルを行う。

課題

- 住民に対して啓発と公開
- 分別されたごみの処理システムと技術
- 手の届きやすい環境にやさしい製品（価格はまだ高く、資源も少数）
- 多くの予算
- 政治の意向

プログラムレポート発表

(西ジャワ州環境局 アリンさん)
 今回の研修で学んだことをどのように活かしていくか発表された。「概念だけでなく、本当に実行され、現場でアクションになっていることを学んだ。事業の策定からいろんな人が関わり、自分事化して協同で決めていくことが大切」

第1回環境保全技術講座及び第1回環境国際セミナー 「国際環境シンポジウム—持続可能な固形廃棄物管理」

新型コロナウイルス感染症対策のため、2021年度は環境保全技術講座及び環境国際セミナーをオンラインによる講演会という形で開催することにしました。この講演会ではマレーシアと日本の固形廃棄物管理と環境の持続可能性に焦点を当て、国際環境シンポジウムとして、マレーシアのマラ工科大（UiTM）との共催により開催しました。マレーシアからはマラッカの紹介と、サーキュラーエコノミーに向けたマレーシアの固形廃棄物管理、廃棄物の利用について講演がありました。

開催日時：2021年11月10日（水）、11日（木）Zoomを用いたWebinar形式

共催：宇部市、特定非営利活動法人 うべ環境コミュニティー、
宇部志立市民大学環境・アート学部OB会

参加者：10日 115人（宇部から12人）、11日 61人（宇部から9人）

【内容】

10日（水）

Session #1：「宇部市の概要」富嶋麻里絵氏（宇部市市民環境部環境政策課主任）
「宇部の廃棄物管理モデルの成功へのロードマップ」川口修平氏
（宇部市廃棄物対策課ごみ減量推進係係長）

Session #2：「宇部のリサイクルプラントと埋め立て地について」越智英和氏
（宇部市環境保全センター施設課リサイクルプラザ係係長）、
田中浩氏（宇部興産コンサルタント（株）所長）

Session #3：「持続可能性に向けたマラッカの旅」モホド ハフィザム ビン
ムスタフ氏（マラッカ州経済計画ユニット、グリーンテック及び
スマートシティ国務次官補）

Session #4：「マレーシアにおける都市固形廃棄物管理の持続可能性—今後の方向性」
Dr.モホド アズハー ビン アブドル ハミド氏（SWCorpマレーシ
ア研究技術部長）

11日（木）

Session #5：「宇部の廃棄物リサイクルプログラムへのコミュニティの関与の強化」
川口修平氏（宇部市廃棄物対策課ごみ減量推進係係長）

Session #6：「持続可能性のための先端材料の開発への廃棄物の使用」
Dr.モハマド ニザム ラーマト教授



11月10日のWebinarの様子です。



宇部IECA事務所からも会員が参加されました。

ブンカリス県のNGO法人SEMESTAとの協議

ブンカリス県の若手公務員、若手リーダー、学生などが組織したSEMESTAとココナッツエコパークプロジェクト（仮題）（ブンカリスのモスクをベースにして気候変動をキーワードとして若者が勉強、研究などの活動をする。また住民に気候変動について知ってもらい、何かしら活動をしてもらう）などの環境教育や気候変動に関する研修についてWeb会議（2021年12月22日）により協議しています。現在、研修に関するMOUを締結し、CLAIR等への申請内容などを協議中です。



【SEMESTAについて】

Semesta (Sentral Muda Bestari) は、若者の能力開発に焦点を当てた組織です。Semestaは2020年7月20日にインドネシア共和国の法と人権大臣の法令により設立されました。

インドネシアのリアウ州ブンカリス県にある私たちは、エンパワーメント活動を通じて、若者が将来の黄金世代になるための準備に参加することに取り組んでいます。

【ビジョン】

私たちのビジョンは「青少年の能力開発のための最良かつ進歩的な手段であること」

【ミッション】

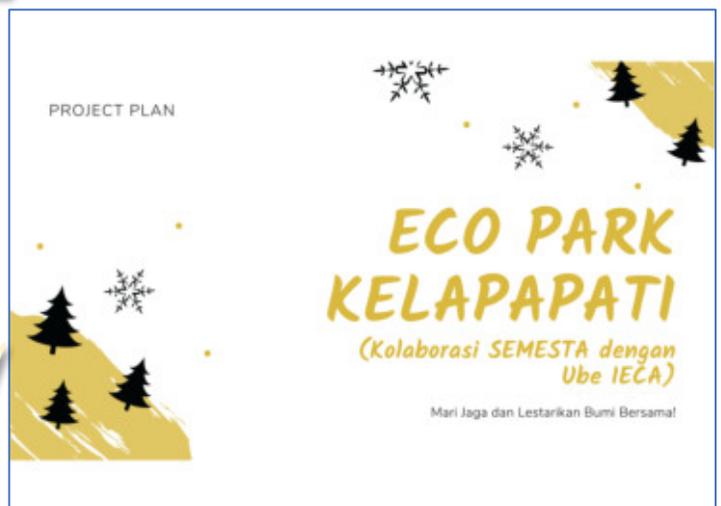
私たちの使命は

1. 青少年の能力を高める
2. ネットワークの拡大
3. 社会貢献



【ココナッツエコパーク
プロジェクト】
(Semestaと宇部アイカのコラボ
レーション)

一緒に地球を守りましょう！



新規環境技術研修コースの企画、提案、 研修プログラムの策定



(1) UiTMと固形廃棄物管理に関する技術協力

UiTMから提案された固形廃棄物管理に関する地球規模課題対応国際科学技術協力 Science and Technology Research Partnership for Sustainable (SATREP) への申請案に対して宇部IECAは研究機関ではないので申請できないこと、山口大学工学部の今井教授との共同研究などを提案しました。また、JICA草の根技術協力であれば協力できることから、草の根技術協力への申請に向けてMOU案を協議中です。

(2) 立命館大学によるJICA草の根技術協力事業パートナー型への申請に対する協力

立命館大学は、2021年度JICA草の根パートナー型へ泥炭地火災防火プロジェクト「第2フェーズ：泥炭湿地火災発生地域における地方行政能力強化支援—官民学連携による泥炭湿地防災と生態系再生に向けて」（1回/年×3～4回予定）を申請しました。この中で宇部IECAは宇部方式、市民連携活動、消防団の活動などの研修を実施する予定です。

(3) ラオスのルアンパバーン市との環境管理に関する技術協力

2019年11月に富山県で開催された環境省(MOEJ)、(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)主催による「低炭素社会実現のための都市間連携事業に関する研修」に参加していたラオスのルアンパバーン市の都市管理・サービス事務所副所長 Daovanh SIRIVONG氏と環境管理に関する新規案件について協議をし、家庭ごみの分別に関する研修をCLAIRに申請することを提案しています。

(4) ラオスのサラヴァン県と環境管理に関する新規案件

JICA青年研修において宇部で研修したラオスのサラヴァン県のMr. Sisomboun氏と環境管理に関する新規案件について協議を継続しています。

開発途上国の青年との環境関連の情報交換

- (1) JICA青年研修事業の元研修員（2018年度来宇）Ender Rohmadi氏が山大工学部に留学（関根教授）中であり、2022年2月18日に研究状況などについて情報交換しました。
- (2) ベトナムから山大工学部に留学中のTruc Thanh Ho氏（ミエントルン土木大学環境工学科の講師、フーエン省トゥイホア市）からJICA青年研修時に研修に参加したいとの申し込みがあったので、研修には参加できないが、レポート発表会には参加できることを伝えました。そして、宇部IECAは東南アジアの国と環境に関する研修を実施しており、相互に協力できることを今後も協議することを確認しました。

環境に関わる情報収集、Webinarなどへの参加

- (1) 4月22日 : コープ自然派奈良主催「生活クラブのグリーンシステム」に参加。リユース瓶の取り組みが参考になりました。
- (2) 6月3日 : JICA主催「NGO-JICA協議会」に参加。
- (3) 7月2日 : 関西NGO協議会他共催「JICA環境社会配慮ガイドライン勉強会」に参加。
- (4) 6月20日 : 公益財団法人山口県ひとづくり財団主催「持続可能な地域づくり研修会（SDGs基礎講座）」に参加。
- (5) 7月6日 : 日化協主催「日化協RC委員会活動報告会」に参加。宇部興産（株）宇部ケミカル工場が「新型コロナウィルス禍における地域対話の継続」でRC優秀賞を受賞されました。
- (6) 7月15日 : 山口大学地域防災減災センター主催「第1回 国際防災・環境セミナー」に参加。
- (7) 7月30日 : JICA主催「オンライン研修向けの研修教材・資料の作成と共有」に参加。
- (8) 7月31日 : 山口県民ネット主催「新たなコロナ時代の資金調達や休眠預金の情報提供セミナー」に参加。
- (9) 8月6日 : JICA主催「JICA-VAN(LMS)操作研修会」に参加。
- (10) 8月24日 : UKC主催「第1回環境サロン（上田廃棄物対策課長、中村上下水道局次長）」に参加。
- (11) 8月27日 : 山口県民ネット主催「日常の会計処理」に参加。
- (12) 8月31日 : 中国地域発展推進会議主催「気候危機のリスクと社会の大転換」に参加。
- (13) 9月3日 : 大崎町SDGs推進協議会主催「OSAKINIツアー」に参加。
- (14) 9月9日 : JICA主催「草の根協力事業新制度の説明会」に参加。
- (15) 9月15日 : 山口県民ネット主催「新たなNPO情報発信力向上セミナー」に参加。
- (16) 10月9日 : UKC主催「ESD研修会」において宇部IECAの取り組みについて紹介。
- (17) 11月18日 : 自治体国際化協会市民国際プラザ主催「コロナ禍で考える国際協力と地域活性化」に参加。
- (18) 11月18日 : 朝日新聞主催「京都府亀岡市、環境と経済の両立ーレジ袋禁止条例」に参加。
- (19) 1月14日 : UKC主催主催「第3回環境サロン（西村 宇部興産（株）環境安全部GL、津島 NPO法人うべ環境コミュニティー副理事長）」に参加。
- (20) 2月2日 : 自治体国際化協会市民国際プラザ主催「これからの地域の国際化、地域発の国際協力と地域づくり」に参加。



広報活動

- (1) 2021年10月9日（土）
UKC主催「ESD研修会」において宇部IECAの取り組みについて紹介しました。

銀天エコプラザ お知らせブログ_5797_1 2021年10月13日
http://ubekuru.com/blog_view.php?id=5797

2021年度 理事会及び総会

- (1) 理事会：2021年5月11日（火）に開催した理事会において前年度事業報告、新年度事業計画などを審議していただき、承認されました。
- (2) 総会：2021年7月6日（火）書面評決において実施し、前年度事業報告、新年度事業計画などを審議していただき、承認されました。

会報

会報第23号を2021年5月に発行しました。

ボランティアのお願い



国際交流及び技術支援のボランティアを募集しております。皆様方の実情に合ったボランティアを積極的に行っていただけませんか。

<国際交流ボランティア>

今後、海外から多数の研修生が、宇部市を訪れると思われます。外国語（英語、スペイン語、中国語等）の会話が可能な方で、休日のホームステイ、市内外の案内等をしていただきます。

<技術支援ボランティア>

環境技術をお持ちの方で、海外研修生の受け入れのための研修コースの策定、研修生の受け入れ、途上国環境対策調査等をしていただきます。

会/員/募/集

現在の会員数

- 個人 150人
- 法人団体 40団体

宇部IECAは会員の皆様の会費により運営されています。

会費は次の通りです。

- ☆個人会員 1口 1,000円
- ☆法人会員 1口 10,000円
- ☆何口でも可

宇部方式は、市民の皆様が積極的に参加するところから始まります。

「会員になって一緒に国際交流を行ってみませんか」とお知り合いの方々へのお誘いをお願いします。

発行

宇部IECA

事務所

宇部環境国際協力協会

UBE IECA

〒755-0045

山口県宇部市中央町2丁目11番21号

宇部市まちなか環境学習館 「銀天エコプラザ」 3F

TEL・FAX (0836)36-3199

Eメール info@ieca.biz

URL <https://www.ieca.biz>